

## 「第9次京都市交通安全計画(案)」に係る市民意見募集の結果について

## 1 募集期間

平成24年1月11日(火)～2月10日(金)

## 2 御意見数

人数：45人，意見総数：105件

## 3 御意見をいただいた方の属性

## (1) 居住地

(人)

北	上京	左京	中京	東山	山科	下京	
1	0	3	2	0	0	2	
南	右京	西京	伏見	市外	その他・不明	合計	
0	1	2	4	11	19	45	

## (2) 年齢

(人)

～20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代～	不明	合計
1	9	24	4	2	1	1	3	45

## (3) 性別

(人)

男性	女性	不明	合計
36	7	2	45

4 御意見の内容 計105件(A) 計画に反映するもの 2件

《御意見の例》

- ・京都市は「歩くまち・京都」の実現を目指しており、過度にクルマを利用しない「歩くこと」を大切にする暮らしへの転換を基本的な考えかたに据えるべき。
- ・自転車事故を防ぐため、道路交通法等の法令による取り締まりを強化する必要がある。

(B) 施策に含まれるもの等 73件

《御意見の例》

- ・人優先の交通安全思想を推進すべき。
- ・身近な生活道路での事故の減少が急務である。
- ・高齢者に対する安全教育や、高齢者が自動車の運転を控えるような取組が必要。
- ・交通安全に携わる人々が協力して計画を実行し、交通事故を減らしていただきたい。
- ・町内や学区などで、児童だけでなく幅広く交通安全啓発・教育を行ってはどうか。
- ・自転車を運転する人のマナーが悪い。小学校低学年から交通安全教育を徹底してほしい。
- ・携帯電話や無灯火など自転車利用者のマナーが悪い。
- ・自転車問題は深刻である。まずは、ソフト面での取組をお願いしたい。
- ・自転車も利用しやすい環境を整えることで、自転車利用者と歩行者と安全を確保していただきたい。
- ・夜間の歩行者等を守るため、反射材をもっと普及してはどうか。
- ・警察と一致団結して規制を強くしてはどうか。
- ・計画の全ての項目を積極的に実施し、交通事故のない安全なまちを実現してほしい。
- ・人・自転車・車・バイクが道路事情にあわせて共存して通行する意識を高めることが大事である。

(C) 計画に対する感想等 6件

《御意見の例》

- ・計画は、多岐に分かれる交通安全対策を網羅した内容になっていて良い。
- ・大切な命を交通事故で失うことはあってはならない。実効性のある計画にしてほしい。

(D) 実施に当たり検討が必要なもの、その他の意見等 24件

《御意見の例》

- ・道路や交差点に標示のない地域では、電柱等に町名・地番を標示すべき。
- ・京都駅から220円で行ける地域が市北部に偏りすぎている。山科・醍醐全域に200円か220円均一で利用できるようにしてはどうか。

5 御意見の施策による類型別件数及び内容内訳 (人)

類型	件数	内容			
		(A)	(B)	(C)	(D)
道路交通環境の整備	21	0	17	0	4
交通安全思想の普及徹底	15	0	15	0	0
安全運転の確保	2	0	2	0	0
車両の安全性の確保	1	0	1	0	0
道路交通秩序の維持	8	0	7	0	1
救助・救急活動の充実	0	0	0	0	0
損害賠償の適正化をはじめとした被害者支援の推進	1	0	0	1	0
調査研究の充実	3	0	2	1	0
環境に配慮した交通対策の推進	8	0	3	0	5
京都市自転車安心安全条例の推進	14	1	12	0	1
踏切道における交通の安全対策	1	0	0	0	1
「歩くまち・京都」総合交通戦略の推進	14	1	7	1	5
計画全般に関するものその他の御意見	17	0	7	3	7
計	105	2	73	6	24